

2023年7月号



1 年も折り返しを迎えましたね。子どもたちはこれから始まる水遊びやプールにワクワクしている様子が伺えます。

HさんはIさんの持ち上げたかったタイヤと一緒に持ち上げてあげ、その後Hさんがタイヤを倒してしまったらIさんが助けてあげたりしながら二人で遊び続けました。

長々と二人のやりとりを書かせていただきましたが、2 歳児は自己中心性が強く出る時期です。これから 3 歳、4 歳となるにつれて“自分とは違う他者”に気が付き始め、少しずつその自己中心性も見え隠れするものになっていくものです(なくなるとは言い切りませんよ)。でも今回の二人は他者を理解し、そしてお互いを受け止めていたように思います。

できることがあったり、できないことがあったり、できない日があったり、できる日があったり…行ったり来たりを繰り返しながら子どもたちは大きくなっていきます。そしていつの間にかいろいろなことができるようになっていくものです。できることを知っているからどうしても大人の私たちは求めてしまいます。できた瞬間を見ているから大人の私たちは期待してしまいます。でも、子どもたちは違います。朝、ママと離れることが寂しかった日は着替えの時間、寂しくなって着替えられなかったりするものです。暑い日が続いて、イライラしていると、いつもなら仲良く遊んでいたお友だちとケンカをしてしまうものです。そんな心と体の揺れが成長していくと、少しずつ少しずつその揺れの幅が小さくなっていく…と思います。

そんな子どもたちの揺れを受け止め、また共有しながら保護者の皆さん、職員と子どもたちを見守っていければと思っています。

(記：主任 湯澤)

 今月のおすすめ紹介 

最近仙川のスーパーあおばがお気に入り、特に 2 週間に 1 度土曜日に行われるお魚 DAY(←勝手にこんな風に呼んでいます。)

小さい頃、本当に毎日1食は魚が出ていたこともあり、大の魚好きでスーパーあおばのお魚DAYの日にあおばに行くのを楽しみにしています。ぜひ、言ってみてください！

